

銚子市立病院 あり方検討委

来月から事前調査 来年2月設置へ

銚子市は29日、市立病院の今後の方向性などを議論する市長の諮問機関「あり方検討委員会(仮称)」を来年2月に設置すると発表した。委員会設置に先立ち、病院経営などの専門家3人を市行政アドバイザーに委嘱し、現状の運営評価や市立病院が地域医療の中で担う



巨大作品に子供たちもびっくり (ふなばしアンデルセン公園で)

移している」としており、基調判断は「一部に厳しきがあるものの緩やかに持ち直しつつある」とした。

べき役割などについて11月から事前調査を実施する。市立病院を運営する医療法人財団「銚子市立病院再生機構」の指定管理期間は、2015年3月末で期限を迎える。これを前に、医療内容や経営形態などを議論し、市長に答申する。事前調査を行う3人をはじめ、

調査を行う3人をはじめ、県や医師会など数人の委員で構成予定で、来年2月から7月までに5回程度開催する計画。

作業中死亡で書類送検

銚子市労働基準監督署は29日、プラスチック成型加工業「富士合成工業(海ほたる市)同社の男性社員33歳を労働安全衛生法違反の疑いで千葉地検八日市場支部に書類送検した。発表によると、社長は29日、匝瑳市みどり平の同社工場で、プラスチック製品を作る機械に囲いを設けないまま従業員の男性(54)に作業させた疑い。従業員は機械の金型に頭を挟まれ死亡した。

陸自隊員を停職処分

千葉市は29日、同市緑区のあるが丘ふれあいの広場公園内で男女便所それぞれの洗面器が壊されたと発表した。同日午前、市民からの通報が

経営難から08年9月末で休止した市立病院は、公設民営で10年5月に再スタート。診療体制の拡充を図り、10月1日現在で、10診療科に医師は常勤7人、非常勤28人、稼働病床数128床。外来患者数は1日平均で、初年度の30・2人から、今年度は329・1人(9月末現在)に増加した。

一方で、指定管理委託料や施設修繕などの経費、赤字穴埋めの総額は年間9億円前後に上り、市財政を圧迫している。越川信一市長は「市の赤字穴埋めを伴わず、上質な医療を提供できる道を探りたい」と話した。

リケードを設置した。発表によると、地元自治会が28日、ふたがなくなっていることに気付いて通報した。ふたは縦110センチ、横54・5センチ、厚さ5・5センチで、重さは1枚50キロ。盗難防止のためチェーンで固定していたが壊されていた。市原署が窃盗事件として調べている。

公園便所設備壊される

同日午前、市民からの通報が

銚子市立病院、初の事業検証

来月から赤字膨らみ経営形態検討

銚子市の越川信一市長は29日、多額の税金を投入し続ける市立病院の経営形態、医療業務などについて、初めて事業検証を11月から実施すると発表した。同市によると、市立病院への繰り出し金は、2012年度の決算見込みで約15億4千万円。このうち、赤字穴埋めや医師の獲得費用など補助金だけでも約9億3千万円にのぼる。市の一般会計予算は、13年度決算で赤字に転落する可能性があることから、抜本的に市立病院のあり方を見直すことにした。

11月から来年1月まで、医療経営コンサルタンの富田一栄さんら3人の専門家

家が診療費や経費などの現状を調査。来年2月から7月まで「あり方検討委員会」を設置して病院経営を検証する。委員には3人の専門家に加え、医師会、国保旭中央病院への委嘱を検討している。

市立病院は10年から公設民営方式で再開し、指定管理者の市立病院再生機構が15年3月までの契約で運営。当初の事業計画より大幅に赤字が膨らんでいる。越川市長は「担うべき病院の役割とともに、指定管理者制度でいいのか、独立行政法人にすべきかといった経営形態まで踏み込んで検証したい」と語った。